2025年3月修了予定者 修士論文・特定課題研究報告書発表会プログラム

セッション	時間	教室	発表者	題目
	9:50-9:55	201	大久保研究科長	オープニング
1	10:00-10:30	201	若菜 昂平	実行証跡付きセキュアプロセッサにおける匿名証跡の構成法に関する研究
		202	清原 達成*	カードベース暗号の量子計算による実現方法に関する研究
	10:30-11:00	201	陳 龍昊	拡散モデルの画像保護を実現する不可視技術に関する研究
		202	齋藤 太新	Data Provenanceを用いた悪性活動特定に向けた良性活動抽出手法の提案
	11:00-11:30	201	郭 佳	Ethereum 上の分散金融におけるサンドイッチ攻撃の識別
		202	澤 豊文	AES鍵の複製と残存実態調査のためのFPGAを用いた周期的ライブメモリフォレンジック手法
	11:30-12:00	201	坂井 武	脆弱性トリアージのためのグローバルセキュリティアラートの提案
		202	陳 拓	RISC-V CPUの過渡実行脆弱性
2	13:00-13:30	201	渡辺 隼斗	一般ユーザのパスキー利用を促す通知デザインに関する研究
		202	中島 明彦	CyberBattleSimを用いたActiveDirectoryにおける欺瞞技術の設置戦略評価
	13:30-14:00	201	松本 侑大	情報セキュリティに関するリスク行動を実施した従業員による報告を促進・阻害する要因の研究
		202	江 鴻浩	生成AIとOSINTを利用したサイバーセキュリティ対策の提案
	14:00-14:30	201	鶴田 彬	eラーニングによる情報セキュリティ研修の成果に学習者コントロールが与える影響の研究
		202	久米 颯粋	CAPTCHAの堅牢性に関する調査
3	14:45-15:15	201	琴浦 将貴	能動的サイバー防御における侵入・無害化の法的課題について
		202	髙橋モハマドシャールク	ナレッジベースによる自動プログラム修復の提案
	15:15-15:45	201	宋 張岩	個人情報保護制度の日中比較研究 ―監督・罰則・匿名化の視点から―
		202	近藤 和希	LLMを用いた社内システムの脆弱性管理効率化の提案
	15:45-16:15	201	山田 祐也	サイバー攻撃による重要インフラのサービス停止がユーザ企業の事業継続に及ぼす被害特性のシミュレーション手法
		202	坂田 真悠*	既存のOSINTツールの比較評価

4	16:30-17:00	201	岩崎 瞬	デジタル空間における同意疲れ軽減のための提案
		202	松坂 惇平	NFTの安全性についての調査
	17:00-17:30	201	KANG TAE SEOK	国内自動車産業小規模サプライヤーのセキュリティ対応能力向上策の提案 ―日米欧ガイドライン分析による自工会・部工会サイバーセキュリティガイドラインの改定案―
		202	三浦 大輔	関係性ベースのアクセス制御の特性に関する研究
	17:30-17:35	201	後藤学長	クロージング
		202		予備

■ *印は特定課題研究報告